

浅草寺五重塔の屋根改修

カナメの「チタン製屋根瓦」採用

金属屋根の製造販売
 工業で社寺建築を手
 掛ける、カナメ(本社
 ・宇都宮市平出工業団
 地、社長・吉原正博氏)
 の軽量で高耐久なチタ
 ン製屋根瓦「チタンカ
 ナメ段付本瓦葺き」が、
 浅草寺五重塔の屋根改
 修工事に採用された。

現在の五重塔は、ア
 ルミ合金製の瓦を使用
 する一方、再建から40
 年以上が経ち、点錆や
 軒先の一部にゆがみな
 どが発生。金属屋根材
 で最も耐候性が高いチ
 タン製に刷新し、酸性
 雨や潮風など自然環境

1973年の再建以来
 初の葺き替えて、配色
 をより「いぶし瓦」に
 近づける改良を通じ美
 観を追求。宝蔵門と本
 堂に続く対応で、20
 17年4月の完工を自
 指す。(1面参照)

の影響を受けない造り
 に仕上げる。

葺き替えの対象とな
 る屋根の工事面積は約
 1553.5平方メートルで、
 塔高は53.32メートル(基礎
 部分を含む)。カナメ

喜多方工場(福島県
 喜多方市関柴町)から
 新日鉄住金製のチタン
 が母材の同製品(厚さ
 0.3ミリ)約5万7千
 枚を全量出荷する。こ
 のほど生産に入り、10
 年に完工した本堂と同
 じ濃淡が違つ3色を取
 りそろえる。

チタンカナメ段付本
 瓦葺きは、業界初のチ
 タン成型瓦として06年



17年4月完工を目指す
 五重塔④と屋根瓦の完
 成イメージ

にカナメが開発。以来、業大臣賞を受賞したほ
 び、浅草寺の新旧3件
 工事で採用実績を上げ
 ている。